

## 小千谷 概要

色鮮やかな鯉、刺激的な闘牛、精巧に作られた布地など、小千谷市には、魅力的な文化遺産や昔からの伝統が数多く存在します。小千谷は日本海に近い新潟県越後地方に位置しており、毎年冬になるとたくさんの雪が降ります。

この雪は、当地域の鯉の養殖池や水田にミネラル豊富な雪解け水を提供し、小千谷縮作りの中心地としてのこの町の発展に役割を果たしてきました。毎年冬に開催される「おぢや風船一揆」では、雪を背景に、日本全国から集まった各団体が競い合います。また、暖かい季節になると、刺激的ですが、牛は死なない牛の角突き（闘牛）を見ることができます。

### 小千谷縮

細かいしぼが施された小千谷縮は、400年以上にわたってこの地方で生産されてきました。この織布の制作には、多くの世代にわたって継承されてきたさまざまな工程が含まれています。織之座の展示では、植物繊維の抽出や糸への加工から、織布を雪上で自然に漂白し柔らかくすることまで、その工程について説明されています。

### 錦鯉

織之座の反対側には「錦鯉の里」があり、水槽、鑑賞池、そして日本庭園の池に何百匹もの色鮮やかな錦鯉がいます。ここを訪れる人は、錦鯉が真鯉からどう進化したかを学び、20を超える様々な品種を観察することができます。

### 角突き（闘牛）

角突きとして知られるこの伝統的な「闘牛」は、1,000年以上にわたって続く風習です。競技は刺激的で、観客は、勢子がけしかける力強い南部牛（短角牛）が角を突き合わせるのを観覧することができます。競技の際、牛に危害が加えられることはありません。角突きは、5月から11月にかけて月に一度開催されます。

### 祭り

他の行事には、8月のおぢやまつり、9月の片貝まつり、そして、多くの色鮮やかな気球が雪景色の上を舞う、冬の壮大なおぢや風船一揆などがあります。

### 特産品

小千谷を訪れる人は、この地域の良質な米や日本酒に加え、海草をつなぎにしたへぎそばなどの特産品を味わうことができます。

### 野外でのアクティビティ

自然が好きな人は、山本山高原で野鳥観察やハイキング、スノーシューイングなど、野外でのアクティビティを楽しむことができます。春の船岡公園では、桜の林が淡い色の花を咲かせます。野外での散策を楽しめる場所です。

### 行き方

東京から小千谷駅へは、上越新幹線と在来線の上越線を乗り継いで約2時間で行くことができます。大阪からは飛行機で新潟空港に到着し、信越本線と上越線に乗り換えて行くことができます。